

## 年頭のご挨拶

太田市医師会長 有 坂 實

1999年、明けましておめでとうございます。

21世紀まであと2年と迫った真に世紀末ですが、皆様にとりましても素晴らしく良い年でありますよう、年頭に当たりまして、心よりお祈り申し上げます。

昨年を顧みますと、太田新田地域は何かと事件話題の多い年でありました。2混（ジフテリア・破傷風）ワクチン接種健康被害救済認定のスピード決着に始まりました。努力を尽くして戴きました関係各位に対し改めまして深謝申し上げますと共に、良き先例となりますよう期待して止みません。4月から厚生省より委託されました「かかりつけ医推進試行的事業」が始まり、次年度で2年目となります。太田市、新田町、尾島町、藪塚町の1市3町の全戸にメディカルマップを配布して、大変な反響があり、地域住民と医者との距離が縮まり、お近付きになり、話がし易くなったと感じられます。本年2月20日（土）には、勿論地域住民参加で、医療に対して素晴らしい哲学をお持ちの高名な作曲家（日本作曲家協会会長）船村徹先生の講演研修会も企画しております。正月14日（木）には慶應大学産婦人科教授 吉村先生の講演「生殖医療と生命倫理」を予定しています。昨年7月には参議院議員選挙がありました。これに先立ち4月には太田市医師連盟を結成し、公的届出を済ませました。9月9日（救急の日）に太田市医師会インターネットホームページを開設致しました。太田市医師会当番10月18日（日）鳳凰ゴルフ倶楽部群馬県医師会ゴルフ大会の成績も掲載し好評です。12月9日（水）午前9時まで3ヶ月間の太田市医師会ホームページへの訪問数は1,394回に上りました。単調に陥入らぬため月替り掲載記事を募集しております。

さて、太田市医師会にも労働省「地域産業保健センター」設置の可能性がでてきました。「かかりつけ医推進試行的事業」と併行に展開し、地域医療福祉の充実発展に尽力したいと考えて居ります。2000年4月スタートの介護保険に向けまして、本年10月より本格的に「要介護認定作業」が始まります。太田市、尾島町、新田町1市2町の広域での作業となります。委員長1名、副委員長1名の医師2名参加の6名1組の認定審査委員会5グループを結成し、毎週一回委員長、又は副委員長出席の計5名の委員会開催が計画されて居ります。この認定作業は3～6ヶ月で更新再認定せねばなりません。大変なエネルギーを必要とする作業で、行政と医師会が物心両面で十分な知恵を絞って、物心共に効率良く仲良く運営しないと公的介護保険は簡単に暗礁に乗り上げてしまいそうです。大事業程小異を捨てて大同につく心構えがないと前進できないのは明白であります。太田市医師会総会員177名のマンパワーに期待して居ります。一昨年9月以降、抑制傾向の続いていた医療費の伸びが回復基調となり、昨年8月より前年比プラスに転じたとの報道があり、次期医療保険制度改悪が心配そうです。昨年12月5日（土）の新聞記事にインフルエンザ、水痘、流行性耳下腺炎等について、厚生省は予防接種法に基づき、国が中心となって接種を促す勧奨接種に任意接種を格上する方向で検討を始めたとありました。太田市では、昨年末に市長と太田市医師会長との合意が成立し、元旦より任意の予防接種健康被害にも公的救済の道が拓かれました。世は正に情報戦争の時代であり、21世紀に向けて益々激化していくと考えられます。兎耳の如く広く、正確で良質な情報を入手し、脱兎の如く素早く実行できる兎年にしたいものであります。

皆様のご健勝ご多幸とお祈り申し上げつつ、年頭のご挨拶とさせて戴きます。